

業務部速報



No. 114

発行 22. 2. 9

JR東労組 業務部

幹本申4号「『2022年3月ダイヤ改正について』に関する申し入れ」を提出！（2/8）

「2022年3月ダイヤ改正について」の提案では、新幹線の輸送力の柔軟化として、一部の定期列車を削減または臨時列車化することが示されています。職場では「輸送力の柔軟化によりどのような働き方になるのか」「列車設定はいつ決定するのか」との不安の声も出ています。要員については1日当りの出面数で示され、休日や年休が確実に取得出来る要員体制なのか見えづらくなっています。また、今ダイヤ改正では折り返し時間等の見直しが行われますが、ゆとりある労働時間が確保され、働きやすさの向上につながっていくものにしていかなければなりません。

【共通】

以下、申し入れ団体交渉を行っていきます！

- 1.各職場における必要な要員の目安を明らかにすること。
- 2.乗務員の勤務の特殊性を踏まえ、臨時列車の運行を前提に、前月25日までに勤務指定を確実に行うこと。
- 3.各駅等での折り返し時間の見直しにあたっては、お客さま対応等を考慮して、ゆとりある労働時間を確保すること。
- 4.盛岡新幹線運輸区から盛岡新幹線車両センター間および、新潟新幹線運輸区から新潟新幹線車両センター間の在便については、遅延によるリスク回避と安全確保のため、これまで通りタクシー便乗とすること。

【東京新幹線運輸区（運転士）】

- 5.東京新幹線運輸区運転士行路は、以下の通りとすること。
 - ①B212行路の便電から672Bは、便電の遅延リスク回避とゆとりある移動のため、間合い時間を拡大すること。
 - ②育児・介護行路は生活実態に踏まえ、日中帯の時間設定とすること。
 - ③新たに仙台駅での併合作業が発生することから、丁寧な教育を行い、不安を解消したうえで乗務できる環境とすること。

【東京新幹線運輸区（車掌）】

- 6.C1101、C1201行路の出勤時間では、前泊が必要となることがあることから、在宅休養時間の確保のために、自宅から通勤できる出勤時間とすること。

【盛岡新幹線運輸区（運転士）】

- 7.盛岡新幹線運輸区運転士行路は、以下の通りとすること。
 - ①B501行路の拘束時間とB521行路の労働時間Aが長時間となっているため、解消すること。
 - ②B507行路（3042B～72B）、B522行路（99B～74B）、B526行路（4107B～便70B）の間合い時間を拡大すること。
 - ③運転士の養成、安全レベルの維持・向上のため、福島駅で分割作業を担当する列車を増やすこと。

【盛岡新幹線運輸区（車掌）】

- 8.盛岡新幹線運輸区車掌行路は、以下の通りとすること。
 - ①C4204行路の150B～4111Bの間合い時間を拡大すること。
 - ②C4101行路の出勤時間では、前泊が必要となることがあることから、在宅休養時間の確保のために、自宅から通勤できる出勤時間とすること。

【仙台新幹線運輸区（運転士）】

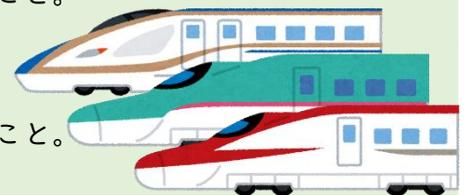
- 9.仙台新幹線運輸区運転士行路は、以下の通りとすること。
 - ①拘束時間が24時間を超えている泊行路を解消すること。
 - ②B316行路（122B～1015B）、B317-1行路（734B～便603E）、B323-1行路（220B～便687B）の間合い時間を拡大すること。
 - ③在宅休養時間の確保のために、自宅から通勤できる出勤時間とすること。

【仙台新幹線運輸区（車掌）】

- 10.仙台新幹線運輸区車掌行路は、以下の通りとすること。
 - ①C2101行路の拘束時間が長時間となっているため、解消すること。
 - ②在宅休養時間の確保のために、自宅から通勤できる出勤時間とすること。

【設備関係】

- 11.東京新幹線運輸区の事務所を以下のとおりとすること。
 - ①異常時対応と間合い時間僅少時の待機場所として、東京駅ホーム下に詰所を新設すること。
 - ②次の乗務に向け充実した休憩をとるため、執務エリアと乗務員エリアを仕切ること。
 - ③多くの乗務員が利用できるよう、仮眠スペースを拡大すること。また、防音対策を行うこと。
 - ④繁忙期にも対応できるよう、カバン置き場を増設すること。
- 12.社会インフラを担う鉄道事業であることを踏まえ、盛岡新幹線運輸区、盛岡新幹線車両センター、盛岡新幹線車両センター青森派出所の乗務員休憩室に、情報収集のためのテレビを設置すること。
- 13.確実なドア扱いを行うため、全駅に乗降終了合図表示器を設置すること。



組合員の声をもとに「安全・健康・ゆとり・働きがい」が実感出来るダイヤ改正を求め議論してまいります！